

■スマイル報告 小池和義社会奉仕委員  
 ・今日もよろしくお願ひします。会員の皆様、寒い日が続きますがご自愛ください。 仲 文成  
 ・今日もよろしくお願ひ申し上げます。 坪井 明  
 山下良雄、森 紀二、武藤正雄、宮坂真志、太田洋寿  
 大野 弘、小池和義 小計 9,000 円  
 協 議 進行：大野 弘国際奉仕委員

■台北百城扶輪社との合同例会・懇親会について  
 日 時：3月15日(木) pm6:00~8:00  
 会 場：東武ホテルレバント東京(錦糸町)  
 合同例会：3階・藤菊(ふじ・きく)  
 懇 親 会：24階・簾(れん) <レストラン&バー>  
 (スカイツリーが一望できる)

費 用：1人1万円<料理・会場費・税・サービス料込み>

\*出席者承認により会場を確定  
 \*開始時刻は先方の意向に沿う。ホテル側から多少の時間の前後について了承を得ている。

\*出欠確認、二次会、記念品交換他詳細について会長、幹事、国際奉仕委員長を中心に後日確認する。



■当クラブ例会変更の案内  
 2/28(火)例会→27日(月) pm6:30 点鐘 正八寿司  
 国際食文化交流会の懇親会・反省会を行う

■出席報告 宮坂真志委員

会員数	出免除	出席数	欠席数	MU	出席率
16名	1名	10名			66.66%

『友』2月号「平和に尽くす会長エレクト」より一部抜粋  
 質 問：平和について語る場合、例えば紛争がない状態が平和であると言う人もいますが、会長エレクトは「平和」をどのように定義されますか。

田中氏：「平和」とは、非常に抽象的で定義しにくい言葉だと思います。多分、その定義は住んでいる地域や社会によって異なると思います。ある地域では、飲み水を得ることが平和をもたらしてくれます。読み書きができることが平和につながります。家族が安全であるだけで平和だと感じることもできるでしょう。平和という概念には満足感、心の安らぎ、幸福感が含まれていると思います。このように平和は一人ひとりの感覚に頼るところが非常に大きいのです。思い返せば戦後の日本はとても貧しく、生活も大変厳しかったものです。しかし、平常に近い生活を取り戻せたことによって心の安らぎを得ることができました。今日、特に日本では戦争や紛争はないものの、人々は満たされていません。

どの地域社会も若者が夢を持つことができるような地域社会であるべきです。世界、そして日本の各地を訪問したとき、私は必ず若い人に「あなたの夢は何ですか」とまず聞きます。皆が答えを持っているわけではありませんが、教師や大統領になりたいといった将来の夢を、皆に持ってもらいたいのです。それが私の願いです。

質 問：平和を実現する上で、アフリカの機能していない政府や

パレスチナとイスラエルの紛争など、絶望的な状況があると思いますか。

田中氏：確かに絶望的な状況はあるでしょう。しかし、それでも私たちは支援するための何らかの方法を見つけなければなりません。例えば国連の活動を支援するのも一つの方法でしょう。悲しいのは、そのような状況に置かれている人々は、日常生活で当たり前のことさえ得られないということです。貧しい国々では、多くの人々が教育を受けられず、現状から脱出する解決策を見つけることができません。だからこそ人々が自立した生活を営むことができるよう、識字や教育プログラムを提供するためにロータリーが全力を尽くして支援することがとても大切なのです。「魚を与えるのではなく、魚を捕る方法を教える」のです。

—東武よみうり新聞掲載記事—(国際食文化交流会 2012. 1. 29 実施)

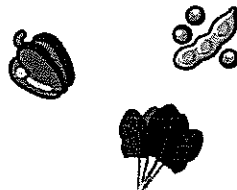
(3) 2012年(平成24年)2月6日(月曜日)

## 自国料理楽しむ

### 越谷「国際食文化交流会」

越谷市袋山の大袋幼稚園体育館で1月29日(日)、第9回国際食文化交流会(越谷中ロータリークラブ(越谷中ロータリークラブ)が主催)が開かれた。写真(左)は、参加者がそれぞれの国の家庭料理を持ち寄り、食を介して交流を図る会だ。中国、韓国、台湾、マレーシア、ドイツ、ミャンマーなど、越谷市在住の外国人ら140人が参加した。

会場には餃子、春巻き、クミン手羽先、オイスターソースと牛肉炒め、マレーシアカレーなど本場の料理がスラリと並ぶ。昨年3月の東日本大震災発生後10日目に来日したという王君香さん(文教大学大学院1年)は「たこ焼きは中国では見たことがない。大好きなたこ焼きを作らせてうれい。とても面白い」と、食の異文化交流を楽しんでいた。また、交流会では剣道連盟層台道部越谷支部員による「居合道」実技も



会場には餃子、春巻き、クミン手羽先、オイスターソースと牛肉炒め、マレーシアカレーなど本場の料理がスラリと並ぶ。昨年3月の東日本大震災発生後10日目に来日したという王君香さん(文教大学大学院1年)は「たこ焼きは中国では見たことがない。大好きなたこ焼きを作らせてうれい。とても面白い」と、食の異文化交流を楽しんでいた。また、交流会では剣道連盟層台道部越谷支部員による「居合道」実技も

ハイライトよねやま 143<2012.2.13 発行>より一部抜粋

- ①寄付金速報 — 2012 年下半期も厳しいスタート —  
 1月までの寄付金は前年同期と比べて3.9%減、約3,800万円減少の9億4,500万円となりました。普通寄付金が6.4%減、特別寄付金が2.5%減でした。
- ②新規米山奨学生が決定！  
 新規米山奨学生の面接選考が各地区の選考委員会によって行われ、2012 学年度合格者が決定しました。1,550 人の応募に対し 648 人が合格。国籍・地域別の割合は、中国 53.3%、韓国 17.6%、台湾 4.0%、その他が 25.2%です。